

令和7年第11回東京都北区教育委員会定例会

会議月日	令和7年11月10日（月）午後1時30分		
開催場所	北区教育委員会室		
出席委員	教育長 福田 晴一	委員 本間 正江	委員 川 染 誉市
	委員 宮川 淳子	委員 高橋 勇市	
	委員 長谷川 勝久		
事務局職員	教育政策課長	教育指導課長	
	学校支援課長	学校改築施設管理課長	
	学び未来課長	教育総合相談センター所長	
	生涯学習・学校地域連携課長	中央図書館長	
	飛鳥山博物館長		

会議に付した議案並びに審査結果

日程	議案番号	提 案 内 容	結果
1	60号	教育に関する事務についての議案作成に係る意見聴取に対する回答について（令和七年第四回東京都北区議会定例会）（予算関係）	承認
2	61号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第十一条第七項に基づく許可について	承認
3	62号	東京都北区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和六年度分）の報告について	承認

日程	報告事項	報 告 内 容	結果
4	34号	北区青少年委員の推薦依頼について	了承
5	35号	第2回まなびステップアップフェスタの開催について	了承

福田教育長	<p>それでは、これより令和7年第11回北区教育委員会定例会を開会いたします。 出席委員は定足数に達しておりますので、会議は成立しております。 教育振興部長は欠席となります。 それでは、初めに日程第1、第60号議案、「教育に関する事務についての議案作成に係る意見聴取に対する回答について（令和7年第4回東京都北区議会定例会）（予算関係）」です。 教育政策課長から説明をお願いします。</p>
教育政策課長	<p>教育長、教育政策課長です。</p>
福田教育長	<p>お願いします。</p>
教育政策課長	<p>それでは、第60議案でございます。3ページまでお進みをいただきます。説明欄のところでございますけれども、それから中央のところ含めまして、令和7年度東京都北区一般会計補正予算（第5号）につきまして、説明欄のとおり、教育に関する事務についての議案作成に当たって、区長から意見を求められているため、本案を提出するものでございます。 右から5行目にお示しのとおり、教育委員会として、議案の作成に異議がない旨回答することにつきまして、今回御審議をいただくものでございます。 5ページからが議案となっております。 それでは、6ページ、お進みをいただきます。第1表歳入歳出補正予算です。初めに、上段、歳入からです。縦の列、右から2列目、補正額の欄、一番下の歳入の合計で622万5,000円の増額でございます。 歳出はその下でございます。同様に右から2列目、補正額の列、一番下でございます。歳出合計で3,905万4,000円でございます。内訳は、この後説明をいたします。 7ページでございます。下の表、歳出でございます。表の中、第2項の小学校費、学校給食費、（4）学校給食費保護者負担軽減策事業費、2,810万円余の増額でございます。食材費の高騰が続いていることを踏まえまして、学校給食の質の確保を図るため、必要な経費を計上するものでございます。 その下、同様に中学校費で、1,080万円余の増額を計上するというものでございます。 なお、給食単価増額につきましては、今年度2回目の増額となります。 上段、歳入でございます。歳入につきましては、ただいまの歳出に伴うものでございます。恐れ入りますが、お示しのとおりとさせていただきます。大変雑駁でございますが、説明とさせていただきます。御審議のほどよろしく願いいたします。</p>
福田教育長	<p>ありがとうございました。 では、本件について、御質疑または御意見はございますか。本間委員、お願いします。</p>
本間委員	<p>異議は全くございません。1点、かつてとは違うので、どのようになっているのか教えていただきたいということで伺いたいのですが、こうした給食費などの公費の負担で増額していることを、保護者には今はどのような形で伝達されているのでしょうか。</p>
福田教育長	<p>学校支援課長、お願いします。</p>
学校支援課長	<p>基本的に、学校長を通じてお願いしております。あと、ホームページ等でもこういった形で補正のほうをしておりますので、伝えさせていただいているといった状況でござ</p>

	<p>います。 以上です。</p>
本間委員	<p>ありがとうございました。</p>
福田教育長	<p>ほか、御質疑、御意見ございますか。よろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
福田教育長	<p>では、特に反対意見等ないようですので、本件については、原案どおり承認することに御異議はございませんでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
福田教育長	<p>ありがとうございます。御異議ないと認め、第60議案については、原案どおり承認することと決定いたします。</p> <p>次に、日程第2、第61号議案、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第11条第7項に基づく許可について」です。</p> <p>本件は、私自身に関わる事案ですので、地教行法第14条第6項に基づき議事に参加することはできません。したがって、本件に関する以降の議事進行については、職務代理者である本間委員にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、本間委員、お願いいたします。</p>
本間委員	<p>はい、承知いたしました。</p> <p>まず、委員の皆様にお諮りいたします。地教行法第14条第6項、ただし書によると、教育委員会の同意がある場合、教育長の会議への出席及び発言ができることとされておりますが、このまま議事を進めてもよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
本間委員	<p>それでは、このまま議事を進めます。</p> <p>事務局より、第61号議案の説明をお願いいたします。</p>
教育政策課長	<p>教育政策課長です。</p>
本間委員	<p>教育政策課長</p>
教育政策課長	<p>それでは、第61号議案でございます。3ページまでお進みをいただきます。3ページの説明欄でございます。本議案は、北区教育長が報酬を得て事務に従事するに当たりまして、北区教育委員会の許可を得るため、提案するものでございます。</p> <p>概要を説明いたします。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第11条第7項では、教育長は、教育委員会の許可を受けなければ、報酬を得ていかなる事業もしくは事務にも従事してはならないと定めております。</p> <p>このたび福田教育長がお示しのとおり、東京都教育委員会が設置する都立高校の魅力向上等に関わる懇談会の委員に就任するに当たり、北区教育委員会の許可を求めるところでございます。</p> <p>この懇親会の内容につきましては、4ページ以降の就任依頼及び懇談会設置要綱を御覧いただければと存じます。事務局からの説明は以上となります。御審議賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p>

本間委員	<p>本件について、御質疑または御意見はございますか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
本間委員	<p>では、特に反対意見はないようですので、本件については、原案どおり承認することに御異議はございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
本間委員	<p>御異議ないと認め、第61号議案については、原案どおり承認することに決定いたします。</p> <p>以降の議事進行は、福田教育長にお戻しいたします。</p>
福田教育長	<p>本間委員、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、議事を進めさせていただきます。</p> <p>次に、日程第3、第62号議案、「東京都北区教育委員会の権限に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和6年度分）」の報告についてです。</p> <p>教育政策課長から説明をお願いします。</p>
教育政策課長	<p>はい。教育政策課長です。</p>
福田教育長	<p>お願いします。</p>
教育政策課長	<p>それでは、いわゆる点検評価の報告書、令和6年度分でございます。御説明をさせていただきます。1ページをお願いいたします。</p> <p>その前に、この報告書でございますけれども、これは地教行法の規定によりまして、区議会に提出をするというものでございます。それに当たりまして、例年同様、本委員会に議案として提出するものでございます。例年、本委員会で報告をしているかなりの大部の資料となっております。評価の仕組みなどを中心に7か所ほど触れさせていただきます。</p> <p>それでは、1ページです。教育委員会の活動状況につきまして、8ページまでにわたりましてお示しをさせていただきます。</p> <p>その次でございます。その次が、9ページまでお願いいたします。9ページ、点検評価の趣旨というところで記載をさせていただいてございます。</p> <p>その次のページ、10ページでございます。評価の実施方法というところで、中段に四角い表でございます。評価の定義を掲げてございます。達成率90%、70%以上90%未満、それから70%未満、3段階に分けてまして、お示しのとおり、A、B、Cという評価づけをさせていただきます。</p> <p>今度は13ページまでお進みをいただきます。今回のこの評価の報告書でございますけれども、評価の対象としております事業でございますけれども、この横長の資料の右から2列目、縦列、事業群、重点事業というところにお示しの35事業でございます。35事業につきまして点検評価をしているというものでございます。</p> <p>その次、15ページまでお進みをいただきます。その35事業の一覧、それから評価、掲載ページを落とし込んでございます。35事業、15ページから17ページにわたりまして掲げてございます。このうち評価Aが32事業、評価Bが2事業、評価C、1事業としてございます。</p> <p>18ページ以降でございます。18ページ以降は、35の重点事業の評価シートを掲載してございます。大部の内容となりますので、恐れ入りますが、説明につきましては</p>

<p>福田教育長</p>	<p>割愛をさせていただきます。  評価シートが続きまして、76ページまでお進みをいただきます。76ページ以降79ページまでにわたりまして、学識経験者による本報告書の御意見をちょうだいをしてございます。  76ページの上から3行目、お示しのとおり、東京女子体育大学名誉教授、田中教授でございます。御意見を頂いてございます。田中教授は、教育ビジョン2024策定の際に、検討に参加をいただいた方でございます。  中身については、79ページまで頂戴してございます。幾つか大変高い評価も頂いているというところがございます。一部、改善に向けての助言も頂戴しているといったような内容となっております。大変雑駁でございますが、以上、説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。  では、本件について、御質疑または御意見はございますか。本間委員、お願いします。</p>
<p>本間委員</p>	<p>御説明ありがとうございました。また、早くから事前に資料も頂きまして、ありがとうございます。  ここ数年、毎年のように報告書も拝見しておりますし、普段からの事務局の皆様の働きぶりについては様々御報告を頂いております。この報告書に現れている以上の皆様の働きで、確実に北区の教育全体が向上しているということ、肌身をもって感じているところです。  また、この報告書のまとめ方も改善をされて、さらに見やすくなっているというふうに思います。  田中先生からもよい評価を頂いている上に、さらに、さらなる期待を寄せてくださっていることも大変ありがたく思いながら読ませていただきました。  私からは、普段お聞きしているようなことと重なることもあるんですが、6点ほどさらに教えていただきたいことがございまして、質問を兼ねて、自分の意見も述べながら伝えさせていただきたいと思っております。  まず、1点目です。23ページになります。教科担任制の件です。  区のさらなる支援などもあって、今現在、教科担任制が当初より内容的にも充実してきているというふうに、当該校の校長先生からも伺っておりますが、直近、この取組方針のところにも今後こうした動向を踏まえながら、区専科指導講師の配置を検討していくというふうにあるのですが、直近としての8年度の配置の見通しについて教えていただきたいです。  2点目、26ページです。  アンガーマネジメント教育の推進ということで、全ての学校ではありませんが、でも、恐らくどの学校もアンガーマネジメントに関する意識を持った指導がなされているものというふうに捉えております。さらに、PTAとの協力で、保護者に対しても積極的にアンガーマネジメント教育の内容について共有していく必要があるというふうに考えていますが、それについて、既にやっていることがございましたら教えていただきたいです。また、どう捉えているのかについてお伝えいただきたいことが2点目です。  3点目、27ページです。心と体を守るための性教育の実施ということで、この取組方針の最後に、包括的なカリキュラムが求められるというふうにあります、本当にそのとおりだなというふうに思います。  医師の協力をさらに得て拡充していくことも大事だと思うのですが、なかなかそれを待っているのは、現状の生徒たちの生活環境の変化等、追いついていけないところもあるかというふうに思います。  保健体育の教員ですとか、養護教諭等の教員を中心としたさらなるカリキュラムの充実も大事だというふうに思っておりますけれども、この包括的なカリキュラム推進に当たっての具体的な計画がありましたら、ぜひ教えていただきたいというふうに思います。</p>

	<p>次、33ページです。不登校対応に対しては、本当に北区は様々、先進的な取組をされているというふうに、文科省の協議会等に伺って、他自治体のことを伺っても、そのように思っております。とはいえ、まだ実際不登校児童生徒が、依然としてまだ学校その他に来られないというような状態がある児童生徒がいることも事実です。</p> <p>さらなる家庭との協力が必要だというふうに思いますし、家庭への支援ということも必要だと思いますが、その家庭への協力、家庭の家庭教育の力を上げていくという上からの視点も含めて、他部署との連携の状況を、いつも伺っていますが、さらに教えていただけたらというふうに思います。</p> <p>スクールソーシャルワーカーとの拡充については十分承知しておりますので、他部署との関係で教えていただけたらというふうに思います。</p> <p>次に、48、49ページ、SDGsに当たるところです。SDGsの推進は、これ様々大きな視点があるんですけども、その中でも、本区では理科教育に力を入れていることもありますので、ビオトープについて特に焦点化して伺いたいと思いますけれども、身近な自然を捉えて、環境教育としてのビオトープの充実、活用は大変、依然として大事だというふうに思っているんですけども、なかなか維持をしていく上では予算の裏づけが大切だというふうに思います。</p> <p>以前にも指導課長から伺ったのですが、今後の予算の裏づけ等、見通しについても再度確認させていただきたいと思います。</p> <p>最後、51ページです。科学的に探求する力の育成ということで、理科は、理科アドバイザーですとか、あるいは様々な支援事業のおかげで、区としても全体に底上げが少しずつされているというふうに思います。</p> <p>これから探求活動等が充実を図っていく中で、実験・観察の果たす役割はさらに大きいというふうに思うんですが、なかなか、いわゆる学力テストの結果としての定着に現れにくいところもありますけれども、実験・観察等をした後のその定着を図るための復習ですとか確認テストのようなことも含めて、細かな振り返りがとても大切だというふうに思いますけれども。</p> <p>理科教育アドバイザーの先生に伺いますと、こうしたことへの取組には、やはり学校差、教員差がまだあるところが現実だというようなお話も伺っております。こうしたことへの啓発をさらに期待したいというふうに思っておりますが、これに対して御意見がございましたら教えていただきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
福田教育長	6点ありました。それぞれ各課長、理事者のほうから御回答いただければ幸いに思いますが、よろしいですか。
教育指導課長	教育指導課長です。
福田教育長	指導課長、お願いします。
教育指導課長	<p>はい。まず、1点目でございます。教科担任制です。</p> <p>東京都の教科担任制事業が非常に本気度がありまして、今、目まぐるしく進んでいます。東京都のほうは、12学級以上、各学年を大体2学級になる規模の小学校につきましては、令和10年度までに全校、教科担任制として加配教員を1人配置するということになっています。</p> <p>実は、これに漏れてきてしまう学校規模、小規模校が実はありまして、1クラスの小さな学校につきましては、東京都は研究という位置づけになっています。</p> <p>区といたしましては、東京都のほうの動きが激しいので、小さな学校、いわゆる単学級の学校を中心にこれから配置していきたいなという構想は持っています。</p> <p>差し当たり来年度につきましては、2、3校、予算要求をさせていただいているとこ</p>

ろですけれども、この辺りがどうなってくるかというところは不透明なところではありますが、意向としては東京都と連動させる形で、区のほうを補完していきたいと思っています。

課題もありまして、実は大規模校をどうするかというところは、例えば3学級以上4学級、5学級の学校につきましては、東京都は、実は後回しにしたいという構想は聞いています。この辺りは今後検討をさせていただきたいと、複数年かけて検討していきたいと思っています。まず1点目でした。

2点目は、アンガーマネジメント教育についてです。

今年度は、小・中学校合わせて14校でアンガーマネジメント教育を実施しています。このアンガーマネジメント教育につきましては、喜びとか、そういった感情面の表出も含めて、感情の表出を大事にすると、アウトプットできるようにしていくということが目的です。

この辺りにつきましては、まだ若干、研修は行っているんですけど、教員サイドのほうで怒りだけに注目している傾向もありますので、しばらく時間をかけて研修等を行って、なるべく早く全校実施に向けて取り組んでいきたいなと思っています。

保護者様に関しましては、同時ということもあるんですけども、一旦、子どものほうにやっぱり注力させていただきたいなという意向がございまして、というのは、今申し上げたとおり、教員サイドのやはり理解レベルの差というのがありますので、この辺りはちょっと調整していきたいなと思っています。

ただ、全部ですね、教員や子どもが終わってからということになりますと遅くなりますので、随時、PTA連合会等に情報共有・提供をさせていただきたいと思っています。これが2点目でした。

3点目です。性に関わる包括的カリキュラムについてです。

どのようにやるかということについては、教育委員会のほうで一定程度束縛というのはおかしいんですけども、トップダウン的にやるのがいいのか、はたまた学校で合わせてやるのがいいのかというのは非常に悩んでいます。

ただ、例えば探究学習を学校で自由にやりなさいといっても、一定程度モデルがないとやはり難しい学校もあると考えておりますので、この辺りは教育課程説明会とか、教務主任会とか、有効に活用させていただいて、研修・研究的な要素も含めた協議形式をしながら、どのような形のカリキュラムがあるのかというのは探していきたいと思っています。

大阪なんかでは、やはり生きる教育みたいな形で、性教育を軸にして教育活動を進めている学校もあると伺っていますので、まずはそうしたところを研究してまいりたいと思っています。これが3つ目でした。

4つ目です。SDGsで、ビオトープでございます。

ビオトープにつきましては、学校改築施設管理課のほうで、ほぼ小学校には全校設置されているというふうになっています。これをどう活用していくかについては、学校の課題になっています。教育指導課では、学校のほうで活用できるようにしていきたいと、指導・助言していきたいと思っています。

現在あるところにつきましては、予算面の裏づけについては、特段、予算、特別に例年と違ってかけているということはありません。ただ、意識のほうではちょっと変わってきてまして、ビオトープを学校経営計画とか、途中から変更して入れてくる学校が増えてきたなと思っています。これは、教育委員の本間先生をはじめとして、言ってくださっていることが校長先生も意識されてきたのかなと思っています。

調べてみると、結構活用しているので、低学年とか、そういうところはやっぱりアピール不足になっているのかなというところもあるので、ここは、もう少し、学校はしっかりやっている、というところを広めていきたいなと思っています。

自然が少なくなってる東京都ですから、ぜひビオトープは活用していきたいなと思っていますし、カエルが北区の特徴なので、カエルを呼ぶような形の展開もできるかなと、個人的には思っております。

	<p>5点目になります。理科についてです。</p> <p>学力調査のことで、知識・技能の定着を図るということは、とても必要だということころです。これは、これまでやはり本間先生が大事にしてきた頃の教育と何ら変わりはないかなと思っていて、不易な部分だと思っています。</p> <p>ですので、一斉授業になりすぎるのが、今あまりよろしくない傾向でございますから、子どもが好きってということと、子どもが得意になってくるような形で、振り返りもさせながら、しっかりと学習に取り組ませる教師のスキルっていうのが求められているのかなと思いますので、この辺りは、林四郎先生と富張先生の力を借りながら、今の施策を見直しつつ取り組んでまいりたいと思っています。</p> <p>北区は、比較的学力が高い傾向が今出てますので、好きっていうのを伸ばしていきたいなと思っていますし、若干今、定着、低くなってきている傾向があるので、お勉強はできるけど、ちょっと興味がなくなっているという子が北区の特徴ではあるかなと思いますが、ここは、やっぱり林四郎先生など大事にしてきた実験観察というところは売りにしていきたいなと思っています。よろしくお願ひします。私からは、以上5点でした。</p>
<p>福田教育長</p>	<p>ありがとうございます。では先に、酒井所長、お願いします。</p>
<p>教育総合相談センター 所長</p>	<p>教育総合相談センターです。私のほうからは、不登校関連というところで、他部署との連携というふうにお伺ひいたしました。</p> <p>他部署といったときに、それを区役所の中と置くか、あるいは、それよりもっと地域の中というところに置くかということ若干変わってくるかと思いますが、まず、区役所の中といたしましては、やはり子ども未来部との連携というのがますます必要かなというところでございます。</p> <p>特に、係数の状態ですけれども、今回、国ですとか東京都から不登校の出現率というのが出されまして、北区のほうと照らし合わせてみると、令和5年度、令和6年度は出現率、かなり北区、抑えられております。東京都、国は上昇しておりますけれども、北区は抑えられて、横ばいという形なんですけれども、というのも、不登校の施策がかなり進んだためだろうというふうには認識しています。</p> <p>そういった中で、やはり低年齢化、それからあと多問題、不登校という裏にある背景というところが、かなり複雑化してまいっておりますので、やはり児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携というのは欠かさないといいと思います。</p> <p>あと、施策的なことを申し上げますと、不登校関連のそれぞれの施策ですが、やはり子ども未来部で児童館を利用させていただいて、校外別室、ありお一そを展開しております。</p> <p>ありお一そ、のほうもかなり定着してまいりまして、ただ、地域によって、王子、赤羽、滝野川地域で、赤羽地域の利用がかなり高いです。児童館がちょっと手狭だということもありまして、やはり、これから赤羽管内の中で、もう少し児童館の拡充ができないかというところが大きなところではあります。</p> <p>そのほかに施策的なことで申し上げますと、やはりスタディサプリというアプリを利用した学習支援の導入ですとか、それから、フリースクールとの連携ということも大きいところで、それからあと、今回、適応指導教室を、今、外部化する手はずを整えておまして、今、プロポーザル中なんですけれども、やはり、外部の方たちの力を借りていくというあたり、それから、大学連携というお話をしますと、やはり家政大の中にホットルームという土曜日に開催している居場所をつくりましたので、そちらもかなり定着しております。</p> <p>土曜日ですので、保護者さんたちがお子さんを送って、待っている間ですね。大学の先生たちが裏メニューで、皆さんがフリートキングできるようなものですか、学習環境というところでは、かなり整えていただいているというところがありますので、そういったところで、かなりいろんな部署と連携が取れてきているのかなというふうには思っています。</p>

	<p>以上となります。</p>
福田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、それぞれ1つずつ御意見等々を、ほかの委員からも、また、理事者のほうからもあれば、少し意見交換したいなと思います。</p> <p>まず1点目、教科担任制についてはどのような配置予定ですかという本間委員の質問に対して、都の来年度の12クラス以上にといいところと、区のほうでは小規模校に、まずそこかなというところを今お答えいただきましたけども、何か御意見とか、さらなる質問とかございますか。本間委員、お願いします。</p>
本間委員	<p>大規模校のほうが後回しという意味合いがよく分からないんですが、教えてください。</p>
福田教育長	<p>指導課長、お願いします。</p>
教育指導課長	<p>教育指導課長です。東京都のほうの公表基準だと、12学級以上は令和10年度まで全校に、教科担任制を実施するための教員を1人追加で配置しますよという形になっています。</p> <p>ただ、課題がありまして、小学校という大規模校になりますと、運営面でちょっと理科室が足りないんじゃないかとか、いろいろ出てまして、1人じゃ足りないとか、それは都の北学園で証明済みなので、そんな何人も配置できる状況なのかというのは、一定程度、特別区の教育委員会の仲間としては持っている認識になります。</p> <p>ただ、令和10年度までに何かしら動きがあるだろうということは確実ですので、来年度以降、また情報が入りましたらお伝えさせていただきたいと思っています。</p>
福田教育長	<p>追加説明ありがとうございます。</p> <p>本間委員、どうぞ。</p>
本間委員	<p>多分、今、課長がおっしゃってくださったような場所の問題もありますけれども、当然、時間割を組む上で、大規模校ほど苦勞なさって、特に都の北は小・中の関連もありますので、その辺りについては、区レベルではなくて、やはり都が進めるのであれば、都段階のほうで、本当にハード面も含めたサポート、具体的には本当に予算をかけていただくということになると思います。</p> <p>その辺りまで本当に考えてくださらないと、最終的に学校現場に、そこところは丸投げってされたら本当に困る問題だというふうに思いますので、ぜひ、それぞれのお立場のところから御意見を都のほうに伝えていただけたらありがたいなというふうに思います。</p>
福田教育長	<p>ほかの委員の方々はいかがですか、教科担任制はよろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
福田教育長	<p>では、2つ目行きます。アンガーマネジメントについてというところで、来年度、小・中14校にといいところの御説明がありました。また、感情表出、ネガティブじゃなくて感情表出という点も教育指導課長から御回答いただきましたけども、アンガーマネジメントについて御意見等ございますか。よろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
福田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、3点目、包括的カリキュラム、性教育についてですけども、今後の見通しとい</p>

	<p>うところで、教育指導課長から御説明、教育課程に説明会等々で話をしていくという御回答がありましたけども、いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
福田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本間委員の5点目の質問になります。SDGsの推進で、ビオトープについてというところでお話がありました。現在、学校改築のほうでは全校設置されていて、低学年のほうでかなり活用はされているだろうという、ただ、予算措置はあまりされていないという赤裸々な話、ありましたけども、その辺りについての御意見ございますか。宮川委員、お願いします。</p>
宮川委員	<p>ビオトープについてですけれども、やはり、この部分は、全校、大体小学校は設置はされているんですけれど、うまく利用されていないというところも多いのではないかと。</p> <p>以前、スクールコーディネーターをしておりました際に、高橋教育長先生とカエルの生態を、8校ほど御一緒させていただいたことがございまして、やはり北区はカエルということで、ビオトープの状況が、カエル、オタマジャクシがいる、いないというその状況が、やはり各校によって違うということがありました。</p> <p>また、環境だけ整えていけばいいというわけではないので、ビオトープに関しては、清水坂公園のところの自然観察の方たちが大変詳しい上に、また、地域だけではなく、結構遠くからも、年何回か行われるいろいろなそういう自然に関する講座がありまして、それを取得すると、そういうボランティアができるじゃないですけど、そういうことがございますので、以前、スクールコーディネーターのときには、そういうところを通して、学校のほうにお力を貸していただけないでしょうかというお願いをしに行ったことがございます。</p> <p>まだ今も続いているというふうに聞いておりますので、ぜひ、いろいろなそういう方たちの力を借りるというのも一つかと思えます。</p> <p>また、ある校長先生は、やはりビオトープは、ちょっと多動ぎみなお子さんですとか、いろいろなちょっと、教室にじっとしてられないお子さんがビオトープのところにて、じっといろいろ植物を見たり、生き物を見て、それはそれですごくいいことだということで、そういう活用もしていますというお話を聞いたことがありますので、その部分も大事にさせていただきたいなというふうに思えます。</p> <p>以上です。</p>
福田教育長	<p>貴重な情報と、また、御意見ありがとうございます。</p>
学校改築施設管理課長	<p>学校改築施設管理課長です。</p>
福田教育長	<p>お願いします。</p>
学校改築施設管理課長	<p>ビオトープについて、小学校に全校という今、お話があったので、ここを訂正させていただきたいと思うんですが、小学校32校中、今25校がビオトープがあるといった状況でございます。学校の改築についてというときにはもちろん整備をさせていただくのと、あと、リノベーションについてのときにも再整備ということで実施をさせていただいております。</p> <p>また、ビオトープについてはポンプの故障ですとか、そういった修繕、補修が必要な場合についての予算というのはついているところになりますけど、特段その維持管理というところの予算というのは当課ではついていないといった状況でございます。</p>

	<p>環境教育という観点ですと、壁面緑化については毎年4回程度メンテナンスというのを入れさせていただいて、委託事業者による環境教育ということで、キュウリやゴーヤの収穫であったり植付けだったりを、そういう環境教育の一環としては実施をさせていただいているところなんです、なかなかこのビオトープについては特段大きな予算といったところというのが、管理面という部分ですけど、そういったところにはついていないというのが現状でございます。</p> <p>以上です。</p>
福田教育長	<p>訂正等々ありがとうございました。 本間委員、お願いします。</p>
本間委員	<p>今まさに答えてくださったところが一番お聞きしたかったところなんです、今お話がございましたように、壁面緑化のほうは、本当に維持管理の予算が確保されているので、各学校を伺っても、夏場は特に立派に育っているし、子どもたちもそれを楽しみにしている様子分かるんですが、ビオトープのほうもかなり年数が経って、木道等が朽ちてきているようなところも一部あるかと思っています。</p> <p>なかなかこの資材が高騰している中で、校内予算だけでは難しい点もありますし、ビオトープも維持管理についての予算の裏づけがあれば、さらなる充実、あるいはそこに子どもたちの目が行くということも期待ができるかというふうに思います。</p> <p>なかなか全体的な予算の厳しいところは承知しているのですが、特に、これまでも学校の特徴として、ビオトープを十分に活用している学校のさらなる充実等から、他校への発信ということも含めて、さらに目をかけていただけたらありがたいなというふうに思っています。</p>
福田教育長	<p>ありがとうございます。 今の点よろしいですか。宮川委員、どうぞ。</p>
宮川委員	<p>環境展が毎年行われておりまして、拝見しているんですけど、今年は滝野川小学校であって、それが今、北とびあの1階ロビーに展示されております。</p> <p>昨日も拝見しましたが、やはり、お米づくりをしてるとか、そういうことは単に何か植物を育てているということではなくて、やはり今、給食費も上がってきて、いろいろな食材の高騰ということもあるので。</p> <p>逆に言いますと、そういうお米づくりってこんなに大変なんだよ、食材が自分の口に入るまで本当に大変なことなんだよということを、子どももそうですけれども、保護者の方にもよく理解していただく上で、そういう環境展は全校が出しているわけではございませんが、その出している学校のそういうまとめ方はすごくすばらしいので、そういうところを各北区内の全部の小・中学校に、こういう環境展でやっていますというようなことも配布していただくと、とても刺激にもなりますし、そうなんだということになるかと思っています。</p> <p>中学校では、皆さん御存じだと思いますけど、王子桜中学校では、屋上菜園で、たしか年間40種類ぐらいの野菜を育てておりまして、ジャガイモなんかは昨年も300個ちょっと、それを学校の給食のカレーで使ったとか、あとは、子ども食堂さんへ、自分たちで作ったお野菜を1袋100円で販売して、その利益を寄附しているとか。</p> <p>とにかくそういういろいろな育てるということから始まって、いろいろな地域貢献とか社会貢献にも結びつくってことで、本当多岐にわたっていい教育だと思いますので、本当にこれは続けていただきたいなというふうに思います。</p>
福田教育長	<p>ありがとうございます。 ほかの委員の方々、よろしいですか。川染委員、お願いします。</p>

川染委員	<p>環境の件でちょっと、コメント多くなって申し訳ないんですけど、環境展、私も昨日見させていただいて、滝野川小学校とか浮間小学校、本当に何か物すごく、学年ごとに報告されてて、すごく細かいところまで、バッタの絵とか、いろんな細かい部分まで子どもたちも観察して、発表というか、出されておりました。</p> <p>ちょっと気になったのが、すごくやっている学校と、やっていない学校がだんだん大きく開いてきているなというちょっと印象がありました。</p> <p>さっきのお話を聞いていると、維持管理の課題があったり、ビオトープの面倒見る方が、やっぱり学校だけじゃ難しいということで、聞いていると、学校だけで解決するというのはちょっと難しいだろうなと思いつつ、スクールコーディネーターとか、地域の方とか、保護者の方とか、ビオトープの維持管理って、比較的とつきやすい話題なのかなというふうにも、保護者とか地域の立場からすると思うのかなと思うので。</p> <p>そういったところも活用しながら、うまくいっているところはそれで十分いいんですけど、やっぱり虫とか好きな子どもたちっていっぱいいると思うんですね。ですから、触れられていない子どもたちもいっぱいそうな気がして、まだ学校がうまく活用し切れてないんであれば、地域の方の声をかけてみて、ちょっとお手伝いしてくれるとか、そういったのがあればよりいいかなと今感じて思いましたので、引き続きこの件はみんなまで連携していきたいと思っています。</p> <p>以上です。</p>
福田教育長	<p>いろいろな方面からの御意見ありがとうございます。</p> <p>ほか、よろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
福田教育長	<p>そうすると、教育指導課長から、本間委員の6点目の理科大好きプロジェクト、これ、かなり今の環境とほぼ同じレイヤーがかかっている内容も多いんじゃないかなと思うんですけども、6番目の探究も含めたという話もありますけども、その辺、御意見ありますか。どうぞ、指導課長、お願いします。</p>
教育指導課長	<p>川染先生のお話し頂いたので、今後の話になってしまうのですが、今後、コミュニティスクールが拡充されていきます。</p> <p>北区としては、教育長を筆頭に、今後そういう動きを取っていくんですけども、まさに今、宮川先生のおっしゃる維持管理のところはここかなと思っています。話し合いに上げて構わないと思うところなので、一旦協議に上げてもらって熟議をして、解決策を共有するというか、この辺りで突破口が出てくるかなと思っています。</p> <p>以上です。</p>
福田教育長	<p>うまくまとめてくださって、ありがとうございます。</p> <p>ほか、よろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
福田教育長	<p>自分からというわけじゃないですが、この後、学校経営報告がありますので、そこら辺でまたビオトープの件、また、今のような探究の件、環境に取り組む件、この辺はみんな、多分、総合的学習生活だったり、特色ある教育活動になると思うので、そこら辺はまた経営報告の中に入れていただいて、その先々に地域との連携でコミスクがあると、少しいい形になるかなと、すみません、司会やりながら思いました。</p> <p>では、教育指導課長からお話のあった教科担任制、アンガーマネジメント、包括的なカリキュラムの性教育、それから、今、SDGs、探究、ビオトープ等と理科だったんですけど、その辺りはよろしいですか。本間委員、どうぞ。</p>

<p>本間委員</p>	<p>既に課長のほうで触れてくださっているところなんですけども、今後、探究的な活動がさらに進んで、より自由進度に近いような学習が入ってきたり、グループ学習が充実されていくと思うんですが、それはそれで本当にこれからの時代を生きていく上で大切なことであると思います。</p> <p>既に、多分、長谷川委員などは詳しく御存じだというふうに思いますけれども、大学などに入学してきた学生が、基本的な知識・技能が十分身につけていない人がいる。そういう弊害があるという点も、既にゆとり教育の再来みたいなことを言われている部分もあるかというふうに思います。</p> <p>新しいことを推進していく上で、過去を学んでいくことは大事だというふうに思いますので、北区においてはあるべき姿を追求しつつ、そういう基礎・基本を抑えていくという大切なところを踏まえたことを先生方に、先生方は真面目なので、新しいことが提案されると、そちらのほうにばかり目が行く、時間的な問題もあると思いますけれども、ぜひ基礎・基本を忘れないということについては、さらに御指導いただけたらありがたいと思います。</p> <p>長谷川委員が多分、そこら辺は何かお考えがお持ちかと思しますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>福田教育長</p>	<p>では、長谷川委員、お願いします。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>すみません。やはり、基礎・基本についての考え方ということで、私見ではありますが、述べさせていただきます。</p> <p>私個人の意見としては、本間委員がおっしゃるとおり必要だと思います。ただ、昨今の認知科学者なんかの発言、聞いていますと、東大なかの先生方も、私はびっくりしたことがあったんですが、やはり、もう九九は必要ない、覚える必要はないって堂々とおっしゃる学者も見えます。</p> <p>それは、確かに計算だとか、本当に基礎・基本になるようなことってというのが、全てユビキタスネットワークによって、それがなくなっている時代になっちゃってるんですね。私の大学院生で中国から来てる留学生、何人かお見えになりますけど、最近スマホも要らないって言っていました。カメラにニコッと笑えば、そこから全部課金されちゃうので、計算する必要は全くない。</p> <p>ちょっとその前までは、物乞いなんかはきちっと、首からコードをぶら下げて、それをタッチする、いわゆるかんかんを前に置いて、現金っていうんじゃなくて、QRコードで頂くような、でも今はそれもないって言ってましたので、その時代に新たな学力観って何なんだろうっていうのが、多分トレンドになっちゃってるんじゃないかなと思います。</p> <p>そういった基礎・基本以外の、例えばそういう時代で、だからこそこれからの学び、これからの学力観、新しい学力観って何なんだろうってとこですね。</p> <p>生成AIにもできないような学力観って何なんだろう、そこを多分、小学校、中学校、義務教育学校のうちから易しい内容を取り入れながら訓練していく、いわゆる文科省的に言う資質能力ベースっていうんですかね、内容ベースではなくて。</p> <p>だから、そういう時代にはなってるのは確かなんですけど、肌感覚としては、やっぱり九九が分からないでは、これはちょっと生活が、それは日本にいるからなのかもしれませんが、という感じはしますし、普通の教養もなければ、さすがにコンピューターに全部物を覚えさせればいい、そこから情報だけを引き出せばいいっていうのは、ある程度、基礎・基本がないと駄目ですし、最近言われているアブダクションっていう推論の仕方がありますけども、これが唯一今、AIではできないというふうにされてます。</p> <p>これもやはり基礎・基本といいますか、その領域に関するいわゆる経験だとか学問的なそういう勉強だとか、いわゆる努力があつてこそ、推論を間違えなくできるものと思います。</p>

<p>福田教育長</p>	<p>歴史的な発明とか大体アブダクションという推論が多いんですけども、だから、そういうものをこれから算数教育だとか理科教育の中にも取り入れていかなきゃいけないなっていうのは思います。</p> <p>ただ、やっぱり基礎・基本というのは、それに取って代わるじゃなくて、それに加えてだと思えます。両方大事かなっていう考えは、私自身は持っています。</p> <p>以上です。</p> <p>なかなかコメントが難しい。推論が出てきちゃいましたね。ありがとうございます。ほか、よろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
<p>福田教育長</p>	<p>いずれにしろ、いろんな難しい時代に本当になってるんだなというのは感じます。</p> <p>ちょっと視点変えまして、不登校対応、先ほど酒井所長から他部署連携ということで、区内の連携、役所内の連携、役所外の連携ということで具体的に話しましたが、そういう中で、先日、問題行動調査のデータの中で、全体的にはちょっと増える。でも、その中で北区は横止まりというのかな、なってる。</p> <p>不登校に関して何か御意見、御質問、追加、ありますか。本間委員、どうぞ。</p>
<p>本間委員</p>	<p>いろいろと普段から取組いただいていること、本当に感謝しております。その成果が、先ほどの説明にもありましたような結果として出てるんであろうことは、十分受け止めているところです。</p> <p>子どもたちの居場所ができたことによって、しかも教員、正規の教員たちの負担も増えることもなく、サポートされてる点も学校としてはありがたいことだなというふうに思っています。</p> <p>他県の自治体によっては、公的にフリースクール的なところの居場所をつくって、そこを学校として子どもたちを受け入れているところもできるというふうに聞いていますので、様々な場所の居場所をつくりがえることはいいことだなというふうに思いますが。</p> <p>反面、居場所ができるということは、やはり違う場所に行くということですので、これからの時代は学校が全てではないということは理解してるんですけども、やがては社会に出て一緒に生活していく、そういう子どもたちがいる場所として、やはり、いわゆる通常の学校の子どもたちとの交流ですとか、一緒に活動するという場面も大事だというふうに思いますので、北区においては自由に入出りできる場所や環境を整えつつも、やはり様々な子どもたち同士の交流といったことも模索していくことも併せて大事だろうなというふうに思っています。それが一つです。</p> <p>もう一つは、他部署との関連、特に子ども未来部だけではなく、いろいろなところと今も連携してくださっているというふうに思うんですが、これは、例えば子ども食堂などに広げて考えてもそうだと思うんですけど、そういう様々な形でいろいろな方が子どもたちに関わって支援するということが尊いことですし、大事なことですし、これからは必要なことだというふうに思っております。</p> <p>しかしなぜそういう子どもたちが生み出されていってしまうんだらう、そうならないための基本となる家庭の在り方というものはどういうことなんだらう、そのところがなかなか簡単に理屈で、あるいは行政が手を差し伸べられる範囲のも限られているところはあるといふふうには思うんですけども。</p> <p>先ほどもちょっとだけ家庭の教育力ということをお話しましたが、本来は、例えば子ども食堂も、お子さんたちがそういうところに行かなくてもよいような環境があればもちろんいいわけですし、不登校についても、そういったことの悩みが起きないような状態が理想ですので、理想だからといって、それは難しいよねということではなくって、家庭の支援、そして家庭が自立していくということと併せて、</p>

	<p>子どもたちの居場所も含め、あるいは生活の仕方も含め、そういったことをやはり私たち先を行く大人としては考え続けていかなくちやいけないのではないのかなと思います。</p> <p>決してそこによき結果がすぐに得られるものではない、難しいものだということは、それなりの年齢経てますから承知してるんですけども、そういった理想像というものは、常に教育に関わるものは追いつけていく必要があるのではないのかなというふうに思っております。とりとめもないことですが、付け加えさせていただきました。</p> <p>以上です。</p>
<p>福田教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほか、いかがですか。長谷川委員、お願いします。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>よろしくお願いします。今拝見してまして、64ページのICTを活用した学びの充実ってところで、評価がBということでされてるんですが、これはどの点が、ここに書いてあるように、やはり活用という、これはもっと活用促進を図っていくという点でBということなんでしょうか。</p> <p>あともう一つ、デジタル・シティズンシップ教育の研究ということで、これはまだ研究段階というふうにここに書いてありますが、実際これはどのような研究をされようとしているのかっていうことをちょっと具体的なところをお聞かせいただければなと思います。</p>
<p>福田教育長</p>	<p>学び未来課長、お願いします。</p>
<p>学び未来課長</p>	<p>こちら児童・生徒の情報活用能力の育成、評価Bというところで、代表的な、北区で特に重点的に取り組んでいるところが、情報モラル教育とプログラミング教育というところになります。</p> <p>このBとしたのは、まず目標としていた700時限の情報モラル教育の実施であったり、プログラミング教育、こちらマイクロビットという小さな電子基盤を貸し出して、より多くの学校でプログラミングの授業をしていただくところのこの目標の実績が足りてないというところで、Aとはせず、Bというところにしました。</p> <p>ただ、この目的としての方向性については、年々取組は強化して、いろんな先生方も、なかなか最初は情報モラル教育、プログラミング教育、ちょっとできないよというところもありましたが、うちの課からICT支援員であったり情報化推進員が巡回訪問することで、こちらの取組を強化していきたいと思っております。</p> <p>デジタル・シティズンシップ教育も、こちら情報モラル教育との違いというところがよく言われるところなんですけど、情報モラル教育が、こういうことはしては駄目だという、どっちかというネガティブなイメージのところがあるんですけど、デジタル・シティズンシップは、よりよくICT機器を活用して社会に役立てていこうという少しポジティブなイメージの、両方とも大事なんですけども。</p> <p>今まで情報モラル教育というのは、例えば6月というのを強化月間にして、いろいろなネットとか、あとは文科省が提示しているプログラムを、こういった授業の動画があるので、活用して授業をやってくださいねということでやってきました。</p> <p>ただ、デジタル・シティズンシップ教育の教材というのが、まだなかなか種類がなくて、なかなか学校でも取り組みにくいというところで、6年度の研究内容としましては、デジタル・シティズンシップ教育って、文科省よりも、むしろ総務省のほうで言うような概念で、そちらのほうの動画とか教材を我々で研究したり、先ほど申し上げた元校長OBの教育情報科化推進員と話し合ったりして、少し教員の研修の中に考え方を取り入れて、例えばこういった授業ができますよというような提案をしているというところが、6年度の取組でございます。</p>

	<p>ちなみに、この7年度に情報モラル教育のカリキュラムにデジタル・シティズンシップの、数少ないですけど、こういう教材を紹介して、例えば闇バイトとか、最近の話題の新しい教材を紹介したりしているところです。</p> <p>というところで、なかなかデジタル・シティズンシップ教育を体系的にどの学校でもできるようにというのが最終的な目標であるんですけど、今そこに向けて、研究とかを進めている、こういったような状況でございます。</p>
長谷川委員	<p>ありがとうございました。</p>
福田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ちょっと自分も付け加え、自分、この前職がこの仕事をしてたので、まさに2018年、プログラミングが来たとき、プログラミングがこれからのアクセラメントと言われて、それで、アクセラメントを踏みすぎると事故るから、ブレーキが情報モラルだという考えが当初、文科省にあって、とはいっても、これからはやっぱり違うだろうというのは、総務省のデジタル・シティズンシップというところが大きな流れがまず2018から2020、2021、2まではありましたと。</p> <p>その中で、今、長谷川委員が言われたこのBという評価については、僕も学び未来課長と同様です。マイクロビットというまさにフィジカルプログラミング、実際に物を動かすというようなプログラミングを小学校でやっているのは、多分そんな多くはないです、正直言って。それを北区では25校のうち15校はやるよというところの実勢、これかなり高いです。</p> <p>ほかの自治体ではなかなかフィジカルプログラミングをやっているところは、本当に研究校だけかなと思いますので、そういう意味では、北区の目的、北区においては、これはBかも分かんないけど、全都的に見たらかなりいいところです。先進的な取組かなと自分は思っております。すみません、課長、付け加えさせてもらいました。</p> <p>ほか、ありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
福田教育長	<p>では、日程3、本当に詳細にお話しありがとうございました。評価書、とてもいい資料で、皆さん議論が深まったかなと思います。ありがとうございます。</p> <p>では、続けさせてもらってよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
福田教育長	<p>では、続いて報告事項となります。日程第4、報告第34号、「北区青少年委員の推薦依頼について」です。</p> <p>生涯学習・学校地域連携課長から説明をお願いいたします。</p>
生涯学習・学校地域連携課長	<p>生涯学習・学校地域連携課長です。</p>
福田教育長	<p>はい、お願いします。</p>
生涯学習・学校地域連携課長	<p>報告第34号、「北区青少年委員の推薦依頼について」御報告申し上げます。</p> <p>1、要旨です。青少年教育の振興のため、教育委員会が委嘱しています青少年委員について、令和8年3月31日をもって2年間の任期が満了となります。これを受けまして、お示しの各関係団体へ推薦依頼を行うものです。</p> <p>2、現況に各選出母体ごとの人数をお示しをしております。各母体からの選出人数が</p>

	<p>定員に満たない場合は、教育委員会から推薦することとしております。  3の今後の予定は、お示しのとおりでございます。  以上、御報告申し上げます。</p>
福田教育長	<p>ありがとうございます。  では、本件についての御質疑また御意見はございますか。本間委員、お願いします。</p>
本間委員	<p>北区の青少年委員の皆様は本当に素晴らしいものだというふうに承知しております。それだけに、多分、出る回数や中身も充実して大変だということがあるのか、なかなか最近、昨今はなり手が少なく、困ってらっしゃるということも耳にしております。</p> <p>2年ほど前でしたか、青少年委員の周年の会があったと思うんですが、そのときにまとめて発表してくださった動画と解説が大変素晴らしく、青少年の方々がどんなことを、楽しみながら活動なさっているかということがよく伝わってくるものでした。あのようなのものがもっと区内に広く伝達されていくと、関心を持たれる方もいらっしゃるのかなというふうにも思いましたので、伝えさせていただきました。</p>
福田教育長	<p>生涯学習・学校地域連携課長、お願いします。</p>
生涯学習・学校地域連携課長	<p>ありがとうございます。青少年委員さんですが、今御指摘いただいたように、非常に精力的に御活動いただいているということがありまして、一方で、その負担感からの成り手がなかなか見つからないといったお声も頂いているところでございます。</p> <p>現在も64名の定員のところへ4名欠けているような状況になりますので、今の御紹介いただいたような活動の紹介方法なども、青少年委員会の皆様と相談しながら、なり手の発掘等にも引き続き努めていきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
福田教育長	<p>ありがとうございます。  ほか、ございますか。青少年委員推薦に関しては、よろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
福田教育長	<p>では、続けさせてもらいます。日程第5、報告第35号、「第2回まなびステップアップフェスタの開催について」です。  同じく生涯学習・学校地域連携課長から御説明をお願いします。</p>
生涯学習・学校地域連携課長	<p>報告第35号、「第2回まなびステップアップフェスタの開催について」御報告申し上げます。</p> <p>1、要旨です。昨年度から人生100年時代の学び直しをテーマとした事業を開始しまして、今回2回目のイベントを開催いたします。学び直しやリカレントをテーマに、教育機関や関係団体、区の関係部署と連携し、講演会や様々な体験や情報提供ができるブースを設置をしております。</p> <p>開催概要については、2、内容にお示しをしております。令和7年12月13日土曜日に開催いたします。</p> <p>また、昨年度は赤羽会館で行いまして、約400名の方に御来場いただきましたが、今年度はイベント会場としての一体的な運営を行いたく、北とびあ地下1階の展示ホールで実施をしております。</p> <p>3、予定ブース並びに参加団体等です。</p> <p>今回のイベントでは、元東洋大学箱根駅伝メンバーで、山の神として知られています柏原竜二さんに、リカレントの実践者として御講演をいただきます。ご自身も実業団引退後、東洋大学大学院に入学をされまして、スポーツ心理学等について学ばれておりま</p>

	<p>す。各メディアやSNSで積極的な発言をされておりまして、今回の講演については適任と考え、依頼をいたしました。</p> <p>その他、出展団体ですとか周知方法等については、紙面のほうに記載のとおりでございます。</p> <p>以上、御報告申し上げます。</p>
<p>福田教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、本件についての御質疑または御意見はございますか。よろしいですか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
<p>福田教育長</p>	<p>では、御審議・御意見がないようですので、ここで本件に関する報告を終了いたします。</p> <p>以上で、本日の日程は全て終了いたしました。</p> <p>これをもちまして令和7年第11回教育委員会定例会を閉会いたします。</p>